






取扱説明書




このたびは本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。

また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い求めの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

 危険	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
 警告	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
 注意	●その警告文に従わなかった場合、けが又は物的損害を負う恐れがあります。

HOME CRAFT

 株式会社 **麻場**

〒381-8530 長野県長野市北長池1443-2

☎026-244-1317 (代)

URL: <http://www.asaba-mfg.co.jp>

-目次-

- ◇ ⚠ 安全のために必ずお守りください.....②
 - 作業の前に
 - 作業中に
 - 作業後と保管
- ◇仕様.....③
- ◇梱包部品一覧.....③
- ◇製品に貼付されたラベルとその取り扱い.....④
- ◇各部の名称と組立.....⑤
- ◇使用前の準備.....⑤
- ◇使用方法.....⑥
 - ポンプハンドルのロック、解除のしかた
 - 作業の前に
 - 給油
 - タンクへの加圧
 - 予熱
 - 燃焼
 - 作業
 - 緊急時の消火方法
 - 消火
 - 炎に息継ぎ、生火が発生したら
- ◇使用後の手入れ、点検と保管.....⑪
 - ノズルの手入れ
 - フィルタの清掃
 - ピストン用Oリングの手入れ
 - 燃料ホースの点検
 - 保管
- ◇故障と対策.....⑬
- ◇サービスと保証について.....⑭
- ◇保証書.....⑭

⚠ 安全のためにお必ずお守りください

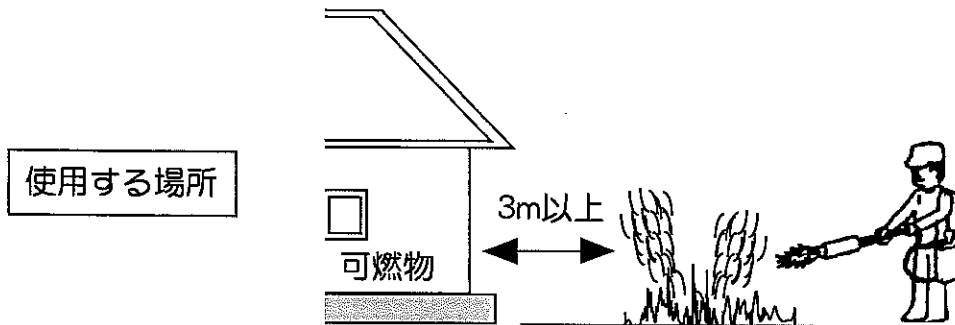
★作業の前に

⚠ 危険

- ・やけど、火災の原因となりますので、灯油以外の燃料(ガソリン、軽油等)は、絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

- ・火気厳禁の場所、家屋、板べい、かやぶき屋根など燃えやすい物のそばでは、火災の原因になりますので、絶対に使用しないでください。



- ・強風の時等、火災発生のおそれがある場合は、使用しないでください。
- ・必ず屋外で、周りに人や動物がいないことを確かめてから使用してください。
- ・作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、磨耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。

⚠ 注意

- ・使用前に緊急消火用の水、及び消火器を準備してください。
- ・バーナ用コックは点火、燃焼中のとき以外は『止』にしてください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
- ・この製品を他人に貸与または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書も添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。

★作業中に

⚠ 警告

- ・使用中の給油は、やけど、火災の原因となりますので、絶対にしないでください。
- ・使用中又は、使用直後はやけどをしますので、絶対にバーナ部に触れないでください。また、バーナ部が熱いうちは、他人が誤って触れないように注意してください。
- ・使用中に炎が消えた時は、ただちにバーナ用コックを『止』にしてください。
- ・使用中に炎が息継ぎをしたり、生火になった時は、バーナ用コックを『止』にしてから、使用方法の『炎に息継ぎ、生火が発生したら』に従って、正常燃焼回復のための操作を行ってください。
- ・燃料ホースは、高温部に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがないように注意して作業を行ってください。

⚠ 注意

- ・バーナを人や動物、家屋等に向けないでください。
- ・バーナを上に向けて使用しないでください。
- ・バーナを風上に向けて使用しないでください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、転倒、落下させないでください。
- ・加圧した状態で長時間放置しないでください。

★作業後と保管

⚠注意

- 使用後は必ず、バーナ及び、燃やした物の消火を確認してください。
- タンクに圧力が残った状態でポンプ部を取り外すと、灯油が噴き出す等、事故の恐れがありますので、作業後及び給油の前には、安全弁のリングを引き残圧を抜いてください。
- 継手パイプ及び、燃料ホースをはずす場合は、必ず燃料コックを『開』にして、安全弁のリングを引き残圧を抜いた後、燃料コックを『閉』にして行ってください。
- 長期間使用しない時は、タンクの灯油を完全に抜き取ってから10～15回ポンピングし、燃料コックを『開』にした後、バーナ用コックのレバーを『主』にしてバーナ内の灯油も抜いてください。
- 使用後は、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

仕 様

	バーナ部	タンク部	継手パイプ	ホース
重 量	約1.2kg	約1.9kg	約0.6kg	約0.3kg
寸 法	φ81×386mm	φ160×530mm	2本で780mm	1,500mm
液 容 量	6.5ℓ			
燃 料	白灯油			
発 熱 量	67.6kW(58,100kcal/h)			
燃料消費量	7ℓ/h			
火炎サイズ	80×550mm			
最大燃焼圧力	0.3MPa			
最小燃焼圧力	0.1MPa			
予 熱 圧 力	約0.08～0.12MPa			
最適燃焼圧力	約0.1～0.2MPa			
連続燃焼時間	約45～90分(目安として55分)			

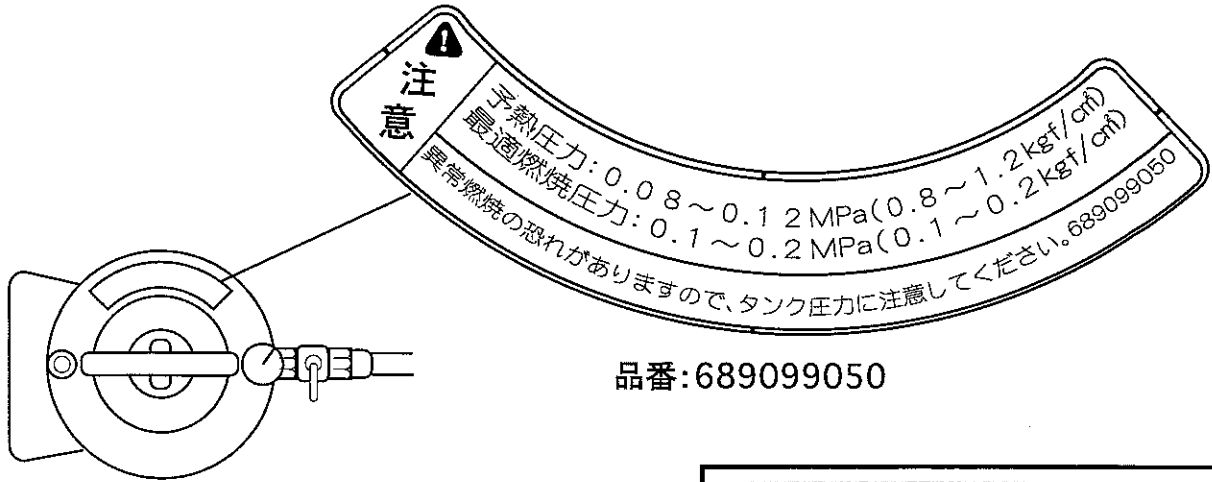
※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

梱 包 部 品 一 覧

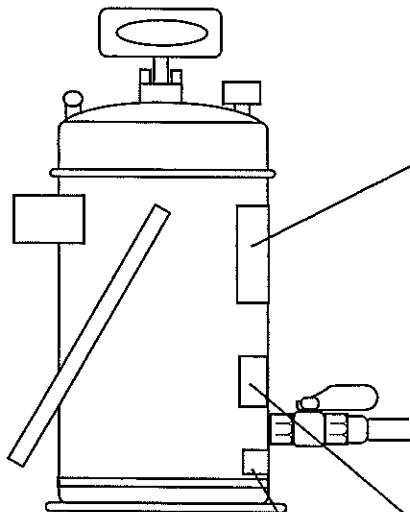
最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もし不具合な点がございましたら、製品名と共に買い求めの販売店までお知らせください。

品 名	数 量	備 考
タンク本体部一式	1	
バーナ部一式	1	バーナ用コック、連結ニップル(フィルタ内蔵)付
継手パイプA	1	
継手パイプB	1	連結ニップル付
燃料ホース	1	
灯油用ホースより戻し	1	PS1/4×G1/4 90°
肩掛ベルト	1	
ライター	1	バーナ点火用
T型レンチ	1	メインノズル交換用
掃除針	1	ノズル目詰まり清掃用
Oリング	1	ピストン用Oリング(NBR-2)
取扱説明書	1	本書(保証書付)

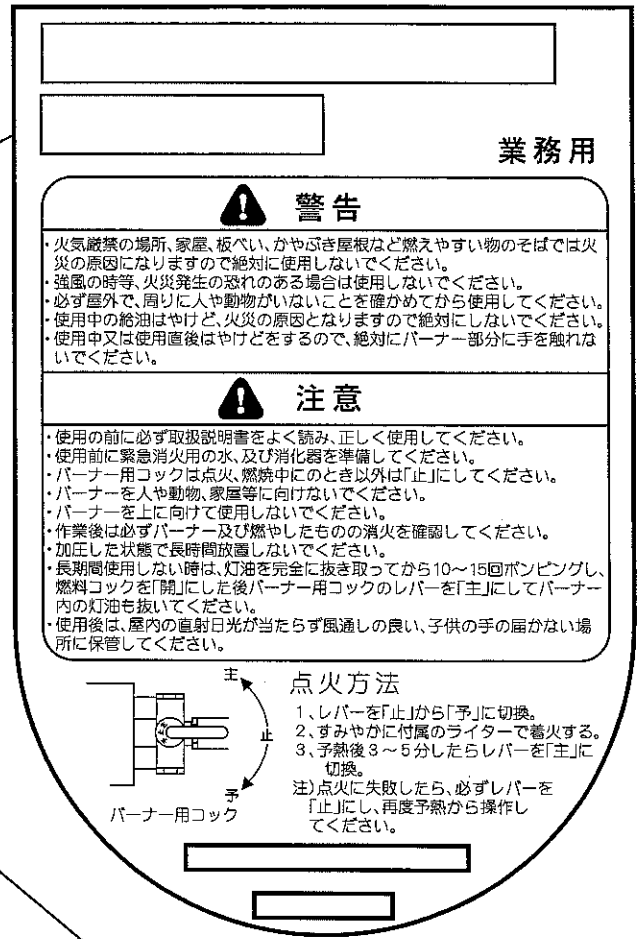
製品に貼付されたラベルとその取り扱い



品番: 689099050

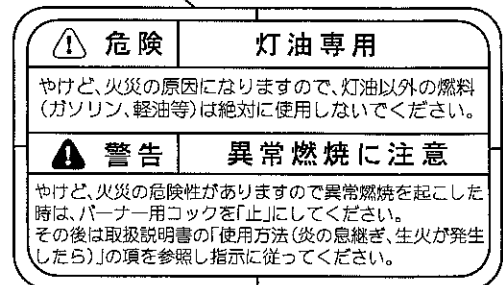


品番: 689045400



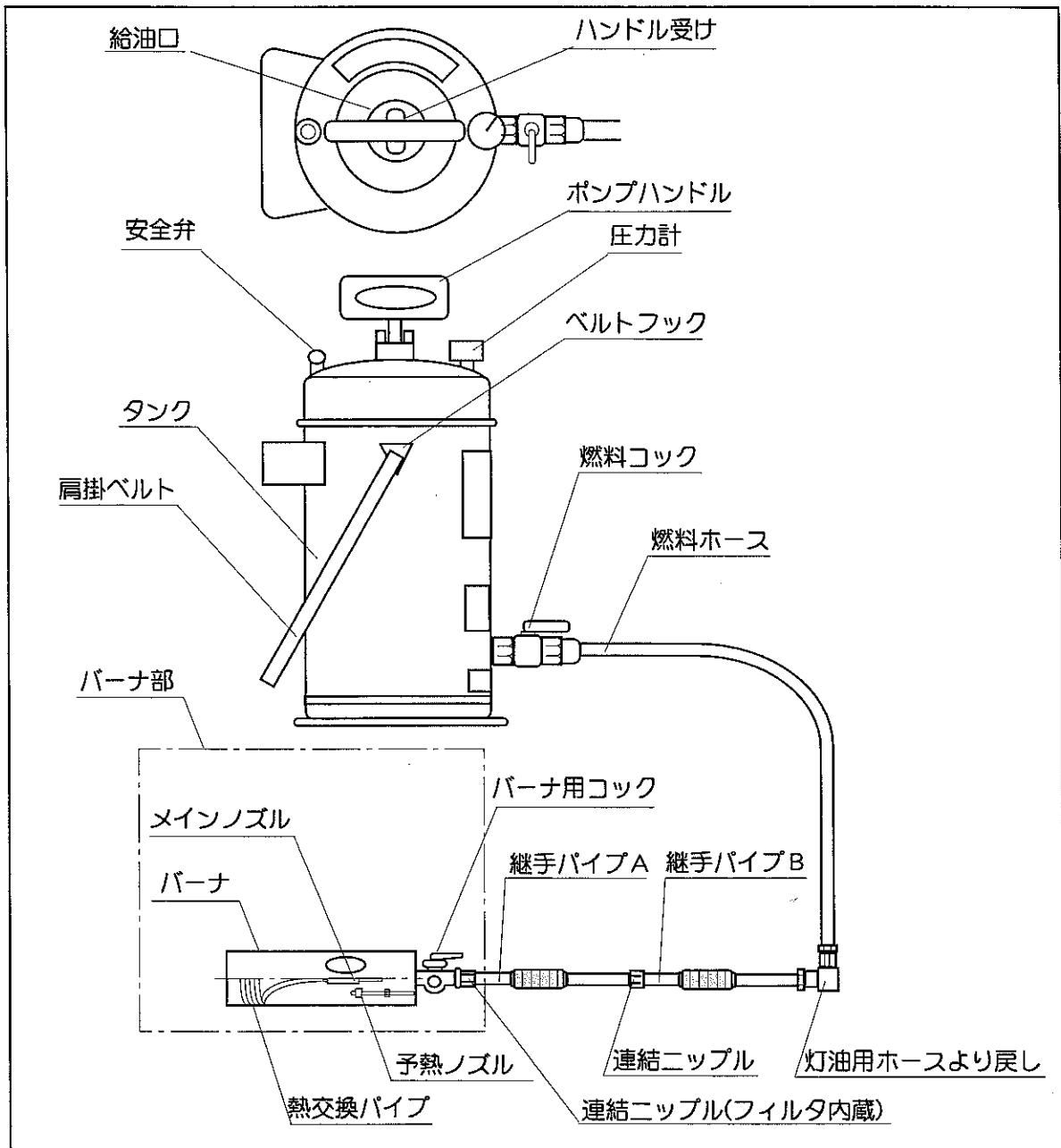
品番: 689045390

- ・ラベルはいつもきれいにし、傷つけないようにしてください。
- ・ラベルが汚損したり、はがれた時は、お買い求めの販売店にラベルの品番と共に注文し、新しいラベルに貼り替えてください。
- ・新しいラベルを貼る時は、貼る面の汚れをふき取り、乾いた状態にして元の位置に貼ってください。



品番: 689099060

各部の名称と組立



使用前の準備

『各部の名称と組立』を参照して、下記の順番に組み立ててください。

- ① 継手パイプBに灯油用ホースより戻しを組み付け、その先に燃料ホースを接続します。
- ② 継手パイプBに継手パイプAを組み付け、その先にバーナ部を接続します。
- ③ 燃料ホースを、タンクの燃料コックに接続します。
- ④ 肩掛ベルトを、タンクのベルトフックに接続します。

⚠ 注意

- ①～③の組立は、接続部パッキンの脱落がないことを確認しながら行ってください。
- ネジ接続部は手で締めした後、スパナ又はプライヤ等で強く締めてください。

※連結ニップルが付いている方が継手パイプBです。

使用方法

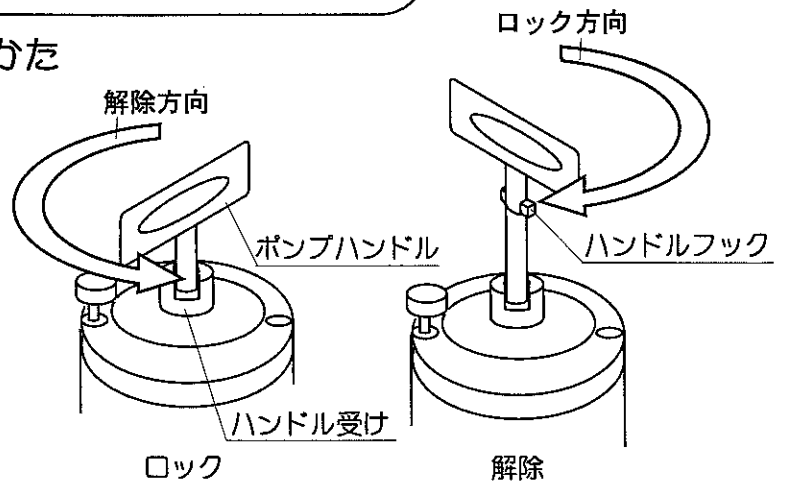
1. ポンプハンドルのロック、解除のしかた

① ロック⇨解除

右図『ロック』状態で、ポンプハンドルを押しながら左に90度回し、ハンドルフックをハンドル受けから引き上げてください。

② 解除⇨ロック

右図『解除』の状態、ハンドルフックをハンドル受けの切り込みに合わせて押し込み、さらに押しながら右に90度回し、ロックしてください。



2. 作業の前に

⚠ 警告

・作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、磨耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。

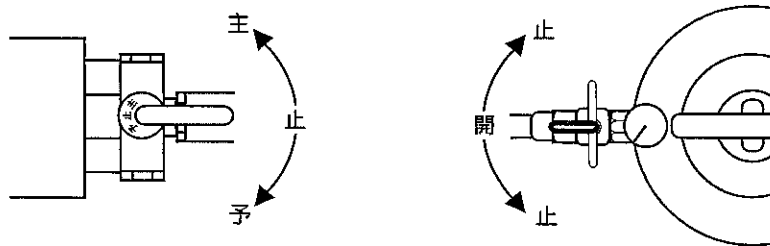
⚠ 注意

・作業前に緊急消火用の水、及び消火器をご用意ください。

・燃料コック及び、バーナ用コックを、『止』の位置にしてください。

バーナ用コック

燃料コック



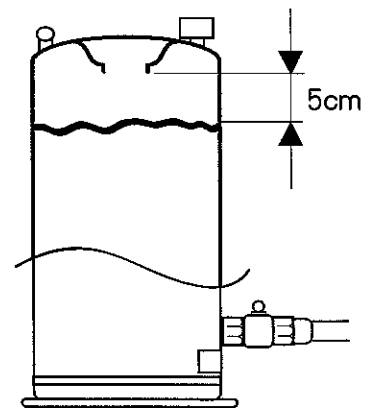
3. 給油

① タンクの上部をきれいにふきとり、ポンプハンドルをロック状態で左に回し、ポンプ部を取り外します。

② 右図の様に、タンク給油口より5cm程度のところまで給油してください。

③ 給油が終わり次第、ポンプ部をタンクに装着し、ポンプハンドルを右に回してしっかり締め付けます。

④ 灯油でぬれたところは布等でふきとってください。



⚠ 危険

・やけど、火災の原因となりますので、燃料は灯油以外のもの(ガソリン、軽油等)は、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

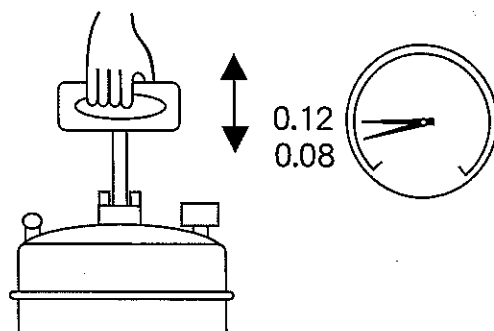
・タンクに圧力が残った状態でポンプ部を取り外すと、灯油が噴き出す等、事故の恐れがありますので、給油の前には安全弁のリングを引き、残圧を抜いてください。

・溢れた灯油や、こぼれた灯油は、やけど、火災の原因となりますので、布等でよく拭き取ってから使用してください。

※タンクから取り外したポンプ部は、絶対にゴミの付く場所に置かないでください。ゴミが付いたままタンクに装着すると、灯油にゴミが混ざり、故障原因となります。ポンプにゴミが付いた時は、灯油できれいに洗い流してから使用してください。

4. タンクへの加圧

- ①ポンプハンドルをロック解除し、上下にポンピングして加圧します。
- ②圧力計の針が、0.08~0.12MPaの範囲に納まるように加圧してください。
- ③加圧し終わったら、ポンプハンドルをロックしてください。



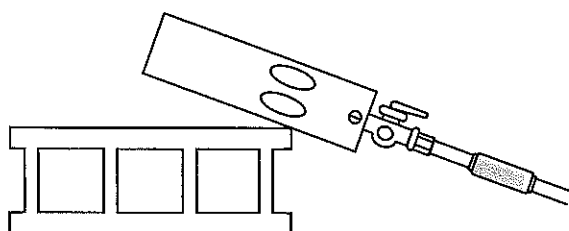
5. 予熱

- ①バーナの先端を、ブロックやレンガ等の上にのせます。

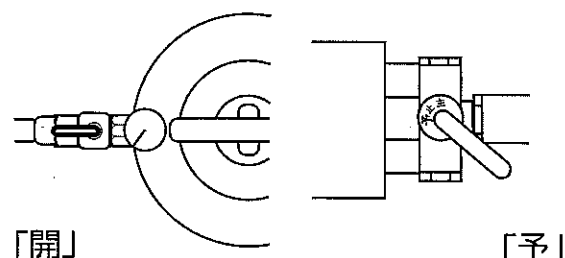
⚠ 注意

・バーナの先端は風下に向けてください。

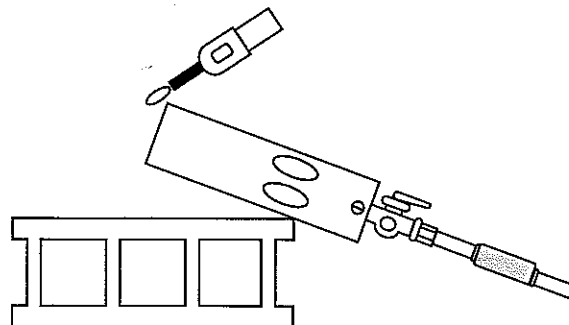
※バーナの先端をやや上に向けると、予熱時間が少なくて済みます。



- ②燃料コックを「開」、バーナ用コックを「予」にします。

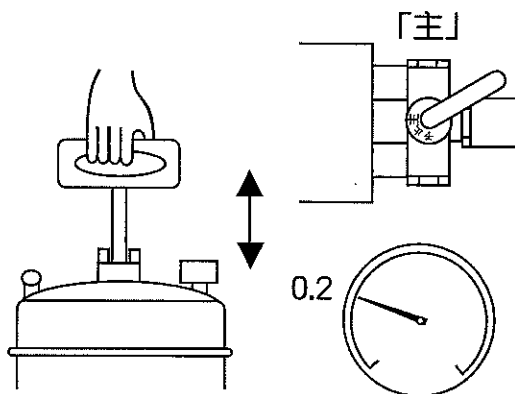


- ③すみやかに付属ライターで点火してください。



6. 燃焼

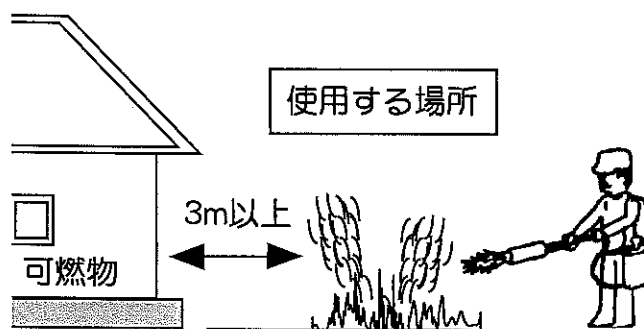
- ①予熱開始3~5分後、バーナ用コックを「主」にしてください。
- ②生火（赤い大きな炎1m~1.5m）が連続的に出ないことを確認後、ゆっくり0.2MPaまで加圧してください。
- ③加圧し終わったら、ポンプハンドルをロックしてください。



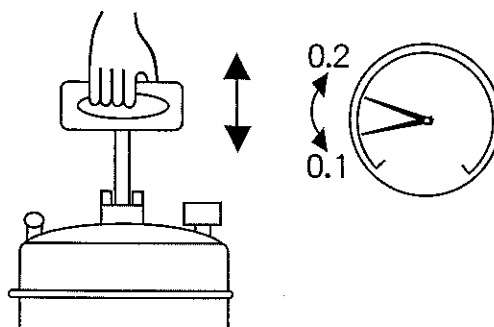
※生火が発生したときは、予熱不足ですので、再度、予熱からやり直してください。
※予熱の時間は、外気温度により多少異なります。
※着火し正常に燃焼すると、ゴーンと大きな音がしますが、異常ではありません。

7. 作業

- ①タンクを肩に掛け、継手パイプを両手で持ち作業してください。



- ②圧力が低下し火力が弱くなった時は、圧力が0.1～0.2MPaで安定に燃焼するまで、再度ゆっくりと加圧してください。



⚠ 警告

- ・火気厳禁の場所、家屋、板べい、かやぶき屋根など燃えやすい物のそばでは、火災の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- ・使用中の給油は、やけど、火災の原因となりますので、絶対にしないでください。
- ・使用中又は、使用直後はやけどをしますので、絶対にバーナ部に触れないでください。
- ・使用中に炎が消えた時は、ただちにバーナ用コックを止めてください。
- ・使用中に炎が息継ぎをしたり、生火になった時は、バーナ用コックを「止」にしてから、使用方法の「炎に息継ぎ、生火が発生したら」に従って、正常燃焼回復のための操作を行ってください。
- ・燃料ホースは、高温部に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがないよう注意して作業を行ってください。

⚠ 注意

- ・バーナを人や動物、家屋等に向けないでください。
- ・バーナを上に向けて使用しないでください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、転倒、落下させないでください。
- ・加圧した状態で長時間放置しないでください。

※炎が消える原因としては、灯油に水が混入している可能性があります。
タンク内の灯油を新しいものに交換してください。
交換の際は、タンク内に水が残らない様、注意してください。
また、保管時にもタンク内に水が入らない様、充分注意してください。

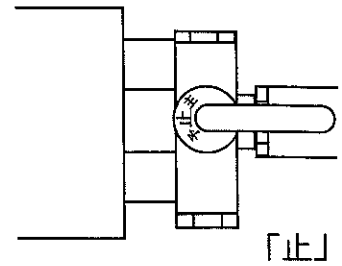
8. 緊急時の消火方法

- ・バケツ等に用意した水にバーナを入れ、消火してください。
- ・燃料コック及びバーナコックを「止」にしてください。

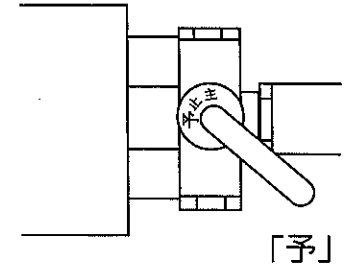
※緊急消火したバーナをご使用の際は、異常のないことを充分確認の上ご使用ください。
※緊急時以外は、通常の消火法に従ってください。

9. 消 火

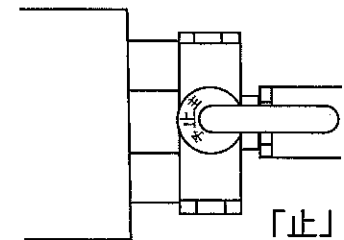
①バーナ用コックを「止」にしてください。徐々に火力が弱くなり、残火（チョロチョロ燃える火）程度になったら、すばやく残火を吹き消してください。



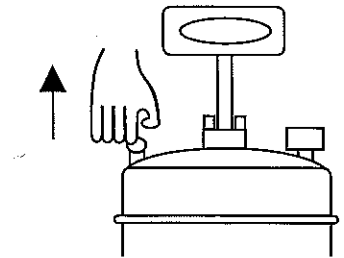
②炎が消えたらバーナ用コックを「予」にして、予熱用ノズルから灯油を2～3秒間出し、予熱用ノズルを洗浄してください。（点火はしない。）



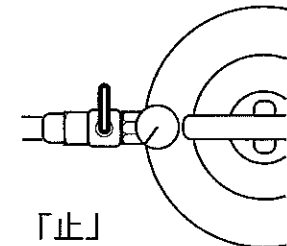
③バーナ用コックを「止」にしてください。



④安全弁のリングを引き、タンク内の圧力を抜いてください。



⑤燃料コックを「止」にしてください。



⚠ 警告

- ・消火後、しばらくはバーナ部が熱くなっていますので、絶対に触れないでください。また、バーナ部が熱いうちは、他人が誤って触れない様に注意してください。

⚠ 注意

- ・作業後は、必ずバーナ及び燃やした物の消火を確認してください。

※本機の予熱用ノズルは、灯油を迅速に気化し、かつ寒冷地での着火を良くするために、微粒子オイルノズルを使用しています。このため、使用方法を間違えると、ノズルが目詰まりをすることがあります。これは、ノズルの内側からの目詰まりではなく、表面に付着したカーボン（すす）によるものです。このカーボンを取り除くために、②の手順が有効ですので、必ず実施してください。

10. 炎に息継ぎ、生火が発生したら

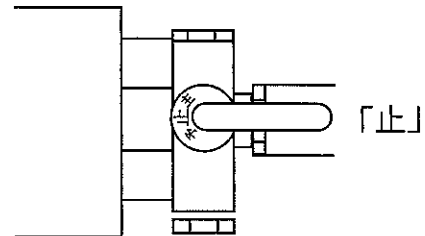
作業中に環境及びタンク圧力等の変化により、灯油のガス化が不安定になって、炎に息継ぎ、生火が発生することがあります。

息継ぎ：赤い炎が周期的に発生する。

生火：赤い大きな炎（1m～1.5m）が連続的に発生する。

⚠ 警告

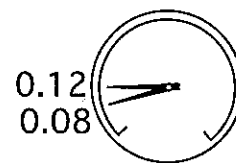
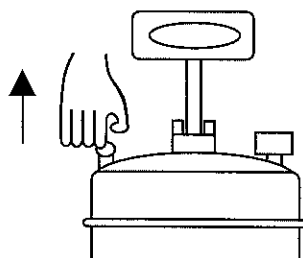
- ・息継ぎ、生火が発生したら、ただちにバーナ用コックを「止」にしてください。



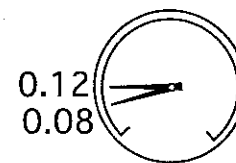
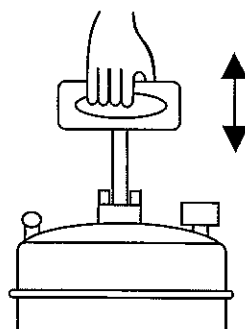
バーナ用コックを「止」にして一旦消火し、再度予熱からやり直します。

①圧力計の針が、0.08～0.12MPaの範囲に納まるようにします。

圧力が高い場合・・・安全弁のリングを引いて調節



圧力が低い場合・・・ゆっくり加圧しながら調節



②ポンプハンドルをロックしてください。

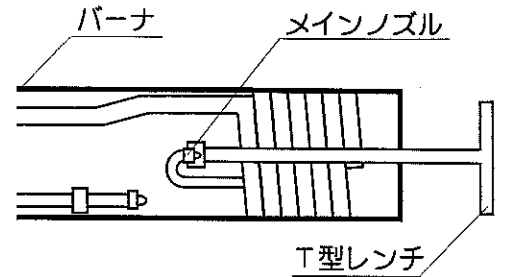
③「5. 予熱」からやり直してください。

※正常な炎に戻らない時は消火し、バーナ部が充分冷えてから『故障と対策』を参照し、処置方法に従ってください。

使用後の手入れ・点検と保管

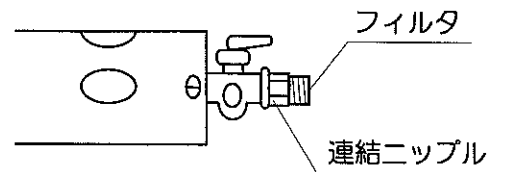
1. ノズルの手入れ

- ①右図の様に、付属のT型レンチを使ってメインノズルを取り外します。
- ②取り外したメインノズルを、付属の掃除針で掃除してください。



2. フィルタの清掃

- ・灯油に混入したゴミを取り除き、ノズルの目詰まりを防止するためのフィルタが、バーナ用コック側の連結ニップルに内蔵されています。このニップルをスパナ等で取り外し、きれいな灯油で洗浄してください。



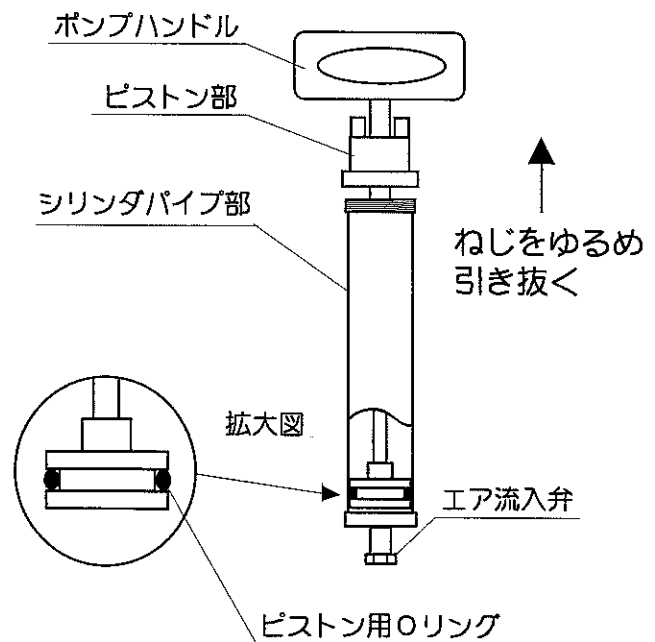
⚠ 注意

- ・継手パイプ及び、燃料ホースをはずす場合は、必ず燃料コックが「開」の状態、安全弁のリングを引き、残圧を抜いてから、燃料コックを「止」にして行ってください。

3. ピストン用Oリングの手入れ

- ・ポンピング時に、ポンプハンドルの動きが渋くなったり加圧しない場合は、次の要領でピストン部をシリンダパイプ部より抜き出して、ピストン用Oリングに機械油の注油、または付属のOリングと交換を行ってください。

- ①ポンプ部をタンクから取り外し、片手でシリンダパイプ部を持ち、もう一方の手でポンプハンドルを握り、左に数回まわして、ピストン部をシリンダパイプ部からはずしてください。
- ②ピストン部を引き抜き、ピストン用Oリング部にゴミや金属粉が付いている時は、灯油できれいに洗い流してください。
- ③ピストン用Oリングに注油、又は、交換を行ってください。
 - ・動きが渋い場合：注油
 - ・加圧しない場合：交換及び注油
- ④シリンダパイプ部を、ピストン部の奥まで押し込むように回しながら入れてください。



注)ピストン部とシリンダパイプ部には、一定の遊び(すき間)があるため、完全に締まりませんので注意してください。

※注油、交換の際に故障の原因となりますので、シリンダパイプにゴミ、異物等が付着、混入しないよう注意してください。

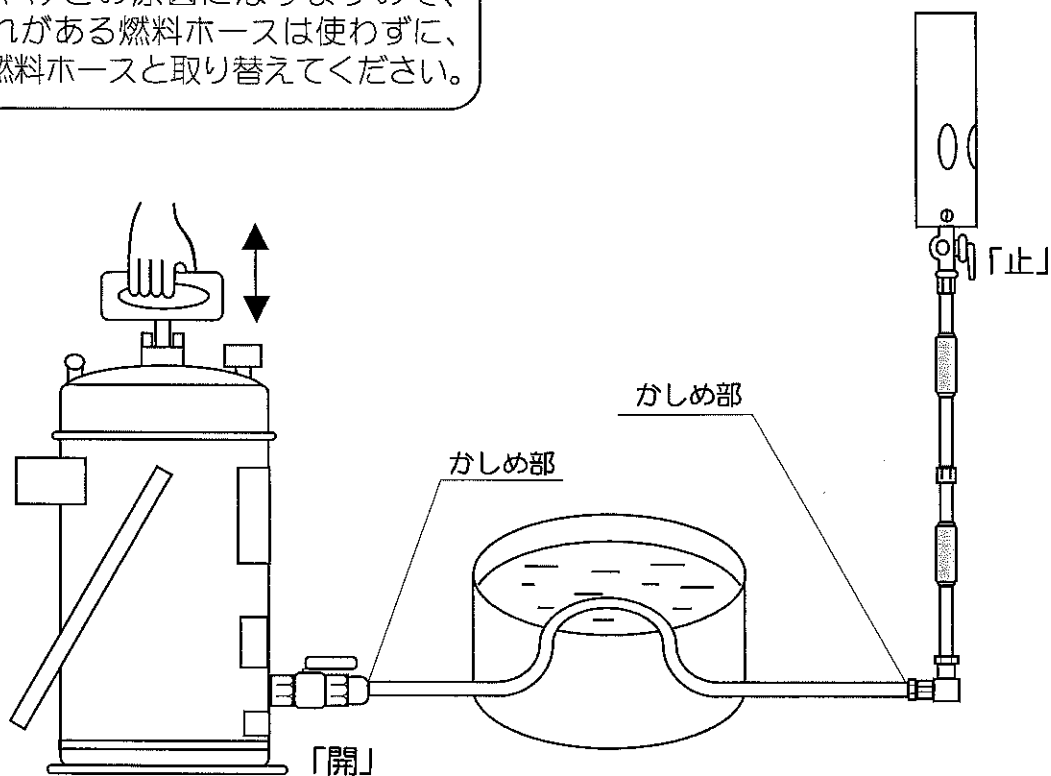
4. 燃料ホースの点検

- ・燃料ホースに亀裂、摩耗、破損等があるとそこから灯油がもれて、やけど、火災の原因となります。使用する前に必ず点検をして、異常が無いことを確認してください。目に見えない亀裂、破損等は次の要領で確認してください。

- ①タンクとホースの中の灯油を全て抜きます。
- ②バーナ用コックを「止」にします。
- ③燃料コックを「開」にします。
- ④タンクを0.1MPa程度まで加圧します。
- ⑤燃料ホースを水につけます。
- ⑥燃料ホースから空気漏れがないか調べてください。
- ⑦燃料ホース両端のかしめ部は、石鹼水を筆等でぬり、空気漏れがないか調べてください。

⚠ 警告

- ・火災、やけどの原因になりますので、空気漏れがある燃料ホースは使わずに、新しい燃料ホースと取り替えてください。



5. 保管

⚠ 注意

- ・長期間使用しない時は、タンクの灯油を完全に抜き取ってから10～15回ポンピングし、燃料コックを「開」にした後、バーナ用コックのレバーを「主」にして、バーナ内の灯油も抜いてください。
- ・安全弁のリングを引き、タンクの残圧を抜いてください。
- ・使用後は、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子どもの手の届かない場所に保管してください。

※保管中にタンクに水が入らない様、充分注意してください。

故 障 と 対 策

☆故障・異常の見分け方と処置方法

原 因	現 象	(炎が安定しない 燃焼状態が変化する)	炎が突然消える	炎が短くなる	ガスかしない (灯油が生じてる)	炎が赤い	着火しない	かからない	タンク内に圧力が	押し戻される	ポンプハンドルが	処置方法
	タンク内に灯油がない		○	○					○			タンクに灯油を給油する
	タンク内の圧力が低い	○		○					○			最適燃焼圧力まで加圧する
	タンク内の圧力が高い				○							最適燃焼圧力まで減圧する
	メインノズル、熱交換パイプ の位置ズレ	○			○	○						販売店に連絡（修理）する
	フィルタの目詰まり			○					○			フィルタの交換、又は、 洗浄をする
	予熱用ノズルの目詰まり								○			販売店に連絡（修理）する
	メインノズルの目詰まり	○	○		○							メインノズルの洗浄、 又は、交換をする
	予熱不足				○	○						充分予熱する
	灯油に水が混入		○						○			タンク内の灯油を入れ替える
	熱交換パイプの損傷				○	○						販売店に連絡（修理）する
	メインノズル接続部よりの 灯油漏れ					○						接続部を締める
	接続部よりの空気漏れ	○		○					○	○		接続部を締める
	メインノズルの穴径拡大				○							メインノズルを交換する
	バーナ用コックの故障	○	○	○					○			販売店に連絡（修理）する
	ポンプの故障									○		販売店に連絡（修理）する
	タンクの故障									○		販売店に連絡（修理）する
	ピストン用Oリングが寿命									○		ピストンOリングを交換する
	エア流入弁にゴミ等が付着										○	販売店に連絡（修理）する
	灯油の変質					○						灯油を入れ替える
	バーナが草木等の燃えた煙を 吸い込む	○			○							風上に立つ

その他、不明な点はお買い求めの販売店にご相談ください。